

第7次総合計画令和7年度意見書（案）の修正箇所について

施策名	旧	新
4. 小・中学校教育の充実（P8）	13. 体育館の冷房設備について、こどもたちの学びの観点のほか、避難所や防災の視点からも検討する必要がある。	13. 学校（特に体育館） の冷房設備について、こどもたちの学びの視点のほか、 避難所など 防災の視点を加えて検討する必要がある。
3. スポーツの振興（P9）	18. レスリングの普及について、オリンピック4連覇した伊調さんがいる強みを生かして、今のこどもがレスリングをやりたいと思う環境の整備や、身近に感じてもらえるような取組を行う必要がある。	18. レスリング普及の活動が箱モノへの投資をしても認知度は広がらない。マルチスポーツが主流の現在は、子供が様々なスポーツに触れ合う機会を提供する過程の中で、レスリングも体験できる機会、環境を創出する必要がある。
2. 中小企業・小規模事業者の振興（P10）	24. 中小企業への支援の一つで、再エネや省エネの導入は安定かつ長期的な経営につながることから、コーディネーターを活用しながら、企業側の意識を高めていく取組が必要である。	24. 中小企業への支援の一つで、再エネや省エネの導入は 経営改善 につながることから、コーディネーターを活用しながら、企業側の意識を高めていく取組が必要である。
4. 雇用・就業の促進（P11）	28. 学生の地元への定着を促す取組として、インターンシップに関する取組や企業等が学校側にアプローチする取組を強化する必要がある。また、企業側のインターンシップの受け入れ態勢が不十分である場合、企業・学生の双方で悪い印象・結果となってしまうため、受入ノウハウや体制づくりなど、受入企業をフォローしながら取組を進める必要がある。	28. 学生の地元への定着を促す取組として、インターンシップ など学校側が企業など地域の大人を受け入れる 取組を支援・強化する必要がある。 また、インターンシップは、受入企業の負担を考慮して、ノウハウや体制づくりなどフォローしながら取組を進める必要がある。
4. 上下水道等の整備（P15）	49. 下水道事業について、新規の拡張を抑えつつ既存施設の維持管理にシフトする等、これからの若い世代の負担を抑えるよう、現実的な計画を立てながら維持管理に取り組む必要がある。	49. 下水道事業について、 事業規模に対して企業債残高が非常に高い反面、普及率は低い。 新規の拡張を抑えつつ既存施設の維持管理、 適切な料金水準の設定を念頭に、 現実的な計画を立てながら維持管理に取り組む必要がある。

1. 地域公共交通の維持 (P15)	52. 新幹線の八戸―東京便数の確保について、八戸駅が通過駅にならないよう危機感を持つことは極めて重要であるため、行政や市民など、関係者が一体となって取組を展開する必要がある。	52. 新幹線の八戸―東京便数の確保について、八戸駅が通過駅にならないよう危機感を持つことは極めて重要であるため、行政など関係者だけでなく、市民などにも呼び掛け、市が一体となって取組を展開する必要がある。
1. 地域公共交通の維持 (P15)	53. レンタサイクルは気候や地形の問題もあるが、都内をはじめとして移動手段も多様化しているので、他都市の状況を参考に新たな移動手段（乗り物）の試験的導入についてタイミングを見ながら検討していただきたい。	53. レンタサイクルは気候や地形の問題もあるが、電動自転車や電動キックボードなどの移動手段も多様化しているので、今後も他都市の取組状況を注視していただきたい。
1. シティプロモーションの推進 (P16)	58. これまでの移住者数だけではなく、今後移住を検討している方がどのくらいかわかる指標をとる必要がある。	58. これまでの移住者数だけではなく、今後移住を検討している方がどのくらいかわかる指標をとる必要がある。また、移住政策には近隣自治体と足並みをそろえるだけではなかなか優位性を図れないため、抜き添えた政策が必要であり、八戸の特性やスポーツ環境などを魅力に感じる層への絞り込みが必要である。